

任意活動団体

石畳を思う会

* 代表者：会長 西本 和明
事務局長 宮田 和幸
* 所在地：内子町石畳2608
* 活動分野：まちづくり

* 活動地区：内子町石畳地区
* 連絡先 (TEL)：0893-43-1753

活動をはじめた「きっかけ」

過疎化が進み、地域が廃れ、将来、集落が消滅することが心配される中、子供たちに誇りを持ってもらえる地域をつくりたいと、内子町石畳の住民である農家の後継者や役場職員12名（当時）で、昭和62年「石畳を思う会」を結成した。「補助金に頼らない、会則を設けない、多数決制ではなく提案者がリーダーとなって活動を行うこと」を活動方針として、石畳地域の地域づくりを牽引している。

現在の主な取り組み

『地域の後継者づくりを目指して』 ～地域ならびに子ども達への投資活動～

* 水車小屋の復元

かつて地域の象徴であった水車小屋を、会員自らの資金と労働により復元。

現在、石畳清流園として整備し、3基（2基：石畳を思う会、1基：町）の水車が回っている。

毎年11月の文化の日には、地域の子供達がスタッフとして参加する、水車まつりを開催。

* 古木の里づくり運動

地域にある樹齢350年といわれる「しだれ桜」の補木をとり、接木して、その子孫を残そうと、平成15年から、しだれ桜の植樹をはじめている。毎年開催している桜まつりには町外からも多数来訪者がある。

▼石畳清流園



▼石畳の宿



～活動団体の声～

石畳を思う会では、「水車小屋の復元」、「ホテル保護による地域資源環境の保全」、「農村文化の継承と景観保全」を進め、豊かな地域全体をひとつの博物館に見立てた「むらなみ保存」活動に取り組んできた。それらの成果として、移住者の受け入れや、様々な授賞（地域づくり団体自治大臣表彰等）があり、メディアにも数多く取り上げられてきた。

今後は、地区内で活動する様々な団体・組織と連携し、住民一帯となった地域活性化を目指していきたいと考えている。